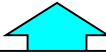


Ⅰ 全体計画

学校の教育目標

○よく考え表現する子 ◎豊かな心をもつ子 ○たくましく鍛える子 ○互いのよさを認め合う子
開校2年目にあたる今年度も、引き続き「豊かな心をもつ子」を重点目標とする。



令和3年度学校経営方針

自ら未来を切り拓き、未来社会を担う児童の育成を目指すために、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進するとともに、多様性を認め合える資質や能力を育成する。
年度末の新校舎移転に向けて計画的に取り組み、児童が夢と希望を抱いて新校舎で学ぶことができるようにする。



本校の捉える「確かな学力」

基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成を目指す。そのために、「主体的・対話的で深い学び」の視点から日々の授業改善に努める。



令和3年度の指導の重点

<各教科>

新学習指導要領を踏まえ、児童に身に付けさせたい力を明確にして、その力が一人ひとりに確実に身に付くように「分かる授業づくり」に努める。

<特別の教科 道徳>

「豊かな心をもつ子」を重点目標として継続し、充実した教育活動を展開する中で、よりよい人間関係の確立に努める。

<特別活動>

新型コロナウイルス感染症予防の中で、各教科等及び学校行事との関連を図り、望ましい集団活動を通して豊かな人間関係を育成する。

<総合的な学習の時間>

新校として、地域の自然や環境・文化・人材等を活用し、主体的に探究する課題解決学習を通して、自ら進んで学ぶ力を育てる。

<生活指導>

今年度新たに策定した共通指導事項に基づき、全教職員が共通の視点で指導にあたり、思い合う心、生命尊重、人権を尊重する態度の育成に努める。

<進路指導>

社会の変化に主体的に対応するために、生涯を通じて学ぶ態度の育成を図るとともに、キャリア・パスポートの取組を年間計画に位置付ける。

授業改善の視点

指導内容・指導方法の工夫

一人一台端末の活用において、GIGAスクール構想の趣旨を踏まえたICT機器の効果的な活用に努める。

教育課程編成上の工夫

よりよい社会を創るという理念を目指して「社会に開かれた教育課程」の実現に努め、新校として地域行事と適切な関連を図る。

評価の工夫

新学習指導要領に基づき、目標に準拠した評価規準を設定し、指導と評価の一体化を図り、妥当性の確保に努める。

校内研究・研修の工夫

体育科「運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に親しむ令和の子」を研究主題とし、研究授業を中核に、授業改善に努める。

中学校との連携

相互理解に基づく実践の充実を図り、連携校相互の情報共有の深化に努め、いわゆる不登校児童の減少を実現する。

家庭・地域との連携

個人面談・保護者会等を活用して双方向性のある連携を築くことに努め、今年度は Google Meet を用いての保護者会を設定する。

学力向上に向けた任期付短時間勤務教員の活用

算数科の基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着のための活用を第一とする。
算数少人数指導では、主に習熟の程度に課題のある学習集団を担当する。3～6年月・火・木・金の授業を担当し、個に応じたきめ細かい指導を行う。また、放課後学習教室での指導も担当する。